

議事録

1 開会・校長挨拶

- 令和7年度最初の学校運営協議会が開始され、校長より委員への感謝と、小学部・中学部・高等部の新入生の元気な様子等の紹介があった。
- 議事録作成におけるAI活用の試みについて言及があり、今後の活用に期待が示された。

2 学校運営協議会委員の任命

- 新委員の紹介と任命が行われた。
- 委員の任期や権限について説明があり、学校運営への積極的な意見交換と協力を依頼した。

3 自己紹介

- 校長、菰山小学校校長（オブザーバー）、学校運営協議会委員、学校教職員が自己紹介を行い、それぞれの立場から学校運営への協力や期待が述べられた。

4 令和7年度 学校経営計画の説明

- 校長から児童生徒数（199名）、医療的ケアを必要とする児童生徒数（3名）、在住地域（約6割が三島市）などの学校概要を説明した。
- 学校教育目標「良さが輝き、未来を拓く」と、その具現化の柱（安全安心、専門性、連携、チーム学校）を示した。
- 本年度の重点的な取り組みとして、人権尊重の精神、児童生徒の命を守る安全教育の充実、キャリア教育の視点での小中高の連携強化、特別支援学校のセンター的機能の充実など挙げた。
- 学校を支える多様な職種の職員構成（教員、養護教諭、栄養教諭、事務職員、学校看護師、バス介助員、実習支援員など）を紹介した。

5 県研究指定について

- 校長より県の研究指定を受け、菰山地区特別支援教育推進協議会を活用した地域と一体となった学校づくりを進めることを説明した。
- 教員同士の交流を重視し、近隣校との学び合いを推進する方針を示した。
- 小中学部・高等部それぞれが、地域での活動計画（地域散策、イベント参加、製品販売、校外学習、清掃活動など）を具体的に説明し、委員への参加と助言を呼びかけた。
- 校長より、学校運営における委員の協力への感謝と、今後も連携を深めていきたいというメッセージを伝えた。

6 グループワーク

- 参加者を複数のグループに分け、自由に議題を設定して意見交換が行われた。
- グループワークのテーマは、社会との繋がり、交流及び共同学習、安全についてであった。
- 企業における障害者雇用の現状や課題、地域イベントへの参加による学校と地域の連携、情報発信の重要性、地域の安全対策、災害時の避難体制、防災用品の備蓄など、多岐にわたる意見交換がなされた。

7. グループワーク報告

- 各グループから意見交換の内容が報告され、地域連携、情報発信、安全対策、災害対策などに関する具体的なアイデアや課題が共有された。

①グループ

企業からの情報発信が...あると良いかな? ↓ 見学会などがあると良い。身軽に感じよう

地域の方に知られている学校か? 東部特支との区別がついていない方も多し → 障害についての区別があまりない方も多し 別の学校であるという認識がな...? 東部特支の跡地に建てたこともある?

職員・関係者は来るが、地域の方というあまり来ない... 伊豆の人。お祭は女子き そいう場に来る人はある。 ↓ 企業・学校が福祉祭のようなものをやると来るかも

11学生... 子どもたちは障害種を気にしている子は少ない。普段からの関わりで生活に近づいている

保護者のコミュニティ... あまりない → 作ることが大変 (伊豆の国市) → 他地域に広がっている。 SBのバス停が唯一のコミュニティの方もいる。 つながりが少ない。つながりたため分からない。

福祉祭... 身内での集まりな事を感じていた (以前) 特別支援教育が町中から減っている... 集則、何か大きな物で変えていかないと... 中(教員、保護者)も世の中も変わってきている

保護者・PTA... どのように保護者を巻き込むか課題

指導員や学校、訓練を受けた方からの協力を受け 保護者だけに頼らずサポートしている。 学校と企業との情報も連携 (企業からの期待する点の共有)

学校を卒業後の受け皿、卒業後の先 少ない → 社会を変えたいのか

支援が必要の子 増えている。 学校を卒業後 企業も大変になる。 製造業... 高校生の採用がない。 苦勞 働く人がいなくなる

企業からどういった生徒の欲求の発信してくれる事がいいか... ① 見せたい良いイメージのキャッチ ② 知れば 生徒や保護者に伝わる内容変わる

どう働かしているか良い? ... 議員(学校をやる事に関して) 例) ドイツ... 中学から進路の選択 専門的な事を早くから学べる 強張股の 入る 地域や企業と早い段階で学べる良いのであれば、小さい方に機会

②グループ

＜安全＞

⑥ 地域 の 安全

不審者
人通りが少ない
防犯カメラの設置増
（アラート効果あり）
プライバシーへの配慮要

⑦ 災害への対応

低い土地⇒水害の恐れ
浸水時の対応課題⇒回避する道が少ない
他校との情報交換あり
登下校の判断が困難

⑧ 地震時の対応

・広域避難所
受入人数等市との調整要（車いす対応、区域等）
・防災用品等の受入可否

③グループ

交流 及び 共同学習

3/2(土) なつまつり
10/26 ハロウィン
11/ いしづかフェスタ
12/21 クリスマス
2/1 節分
3/29 お花見

伊豆市
産業振興会
主催

(高学部)

- ・ステージ発表
エントリーする
- ・作業製品販売
- ・キッチンカー 7-8台
(地域の事業所)
地域の食べ物も食べられる

① イベントへの参加

伊豆市
修善寺駅前 6/年
ex 御城印の販売 (伊豆総合)
出店申込すれば参加できる

地域との接点
地域の活性化にも
役立てる(学校)

(小学部)
保護者と参加できる
→ 地域の方と顔合わせ
伊豆箱根鉄道とタイアップ
ミニ鉄道くる!!

(中学部)
地域の方に喜んでいただく活動
・押し花のしおり → 伊豆市観光アンケート
回答にいたいた方へのバレッタ

① 作品展示

子どもの作品
(学校紹介パネル)

② 情報発信の工夫

「誰に届けたいか」が一番大切 「ペルソナ」 一般の人? 家族? 困っている人?

日常使っている媒体
行動と想像
→ この先に置くように
★届いているかどうかの
検証も必要.

8 閉会・校長挨拶

- ・ 校長より、活発な意見交換への感謝と、今後も委員との連携を深め、学校運営に活かしていく意向が改めて伝えられた。
- ・ 次回の学校運営協議会の日程が告知された。

9 コンプライアンス委員会

昨年度の状況と課題認識

- セクハラ 1 件、交通違反 1 件、交通事故 1 件が発生。
- 教員の免許更新忘れや保険手続き漏れ防止の計画あり。
- 人権感覚向上が重要課題。生徒指導課が月目標設定、全職員がセルフチェックを実施。
- 長期休業中に法律研修の機会を検討。
- 教員が「自分ごと」として捉え、連携・情報共有していくことの重要性を確認。

カスタマーハラスメントについて：

- 学校における保護者対応の難しさ、小学校での侵入事件などを背景に、カスタマーハラスメントについて意見交換。
- 企業等での事例を参考に、学校現場での対策を検討する必要性が示唆された。
- 参加者からは、過去の旅館経営における無理な要求への対応経験や、企業におけるパワハラ防止制度の事例などが共有された。
- 教員からは、保護者との対応における苦慮や、個人で抱え込まず協力体制を築くことの重要性が提案された。
- 特別支援学級の保護者の心情や、権利意識の高まりからくる要求への対応の難しさも話題に上がった。

教員の不適切な指導について：

- 不適切な指導の例として、子供への「ちゃん」付け呼びの問題提起がなされた。
- 人権感覚やコンプライアンスに対する意識の重要性が改めて確認された。
- 家庭環境における不安や孤立が、保護者の学校への関わり方に影響を与えている可能性が指摘された。
- 学校と家庭の目標共有や、日々のコミュニケーションの重要性が強調された。

今後の取り組みについて：

- 教員間の情報共有や意見交換を促進する。
- 保護者対応においては、チームで連携し、段階に応じた対応を検討する。
- 教員の多忙化という現状を踏まえ、互いに助け合える働き方の重要性が改めて認識された。
- 県からの不祥事事例研修を、本校の実情に合わせて効果的に実施する方法を検討。
- コンプライアンス委員会は今後も継続し、学校運営の改善に努める。

その他：

- 次回の運営協議会では、コーディネーターを川島氏が務める予定